

## 入選

### はじめてのびよういん

埼玉県 戸塚南小学校 3年 沖中 二葉

わたしは、のぼしていたかみを今年短く切りました。短く切った理由は、「ヘアドネーション」をしたからです。「ヘアドネーション」とは、かみを31センチいじょうのぼして切って、びよう気がかみが少ない子にカツラとしておくことです。

わたしがかみをのぼしたきっかけは、小学校に入学する前、かみが短くてのぼしたいと思っていたからです。のぼし始めたときは、「ヘアドネーション」のことをしらなくて、ただのぼしたいと思っていました。

二年生になって、お母さんに、

「せっかくかみをのぼすのなら、びよう気がかみの毛が少なくなってしまった子たちに、のぼしたかみを切って、ウィッグにして送る『ヘアドネーション』があるけど、やってみる？」

といわれました。テレビでも見たことがあって、げいのう人がやっているのをみて、わたしもやってみようと思いました。

のぼしている間、なんども切りたくなって、よく、

「切りたい。」

といていたけれど、もくひょうの31センチいじょうになるまでがんばりました。

切りたいと思った理由は、じゅぎょう中、いすにひっかかったり、シャンプーやかみをかわかすのがたいへんだからでした。あと、かみをとかすときくしにからまって、切れていたかったからです。

かみを切りにいく日、しょうじきこのかみの長さでたりるのかな、としんぱいしていました。あんなに切りたいと思っていたのに、びよういんにいったら、もうちょっとこの長さでいたいな、とさみしく思いました。

いままでは家でかみを切っていたから、はじめてのびよういんは、きんちょうしました。さいしょは、かみの長さをはかって、4本のたばにわけてゴムの少し上を切っていました。

切り終わったとき、自分のかみを持って写真をとりました。本当はかえしたくなかったけれど、お母さんは、

「なにかもくひょうをもって、ひとつのことをやりとげるのは、すごいことなんだよ。きっとよろこんでくれる子がいるよ。」

と言ってくれました。またやろうと思いました。